

三好市観光基本計画（概要）

□計画の位置づけ

本計画は、上位計画である第2次三好市総合計画及び市総合戦略の将来像の実現に向け、観光振興を「今後の三好市の外貨獲得の基幹産業であり、あらゆる政策に横串を刺すリーディング産業」と位置付けし、観光振興の方向性や基本戦略、さらには、基本戦略に基づく具体的施策を定めた。

□計画期間

本計画の計画期間は、2020年度から2024年度までの5年間とする。なお、観光市場を取り巻く環境は刻一刻と変化していくことから、5年間の各年度に計画の進捗状況を確認しつつ、本計画の内容を適宜見直ししていくものとする。

□計画の目的

「観光産業の発展(地域ブランド化と集客の実現、外貨の獲得)により、三好市の人口減少によって引き起こされる様々な地域課題を解決に導き、地域活性化を実現すること。この地域活性化には地域経済活性化や、地域コミュニティの再生やシビックプライドの醸成、豊かな歴史文化の保全や継承、自然環境の保全まで含んでいる」

「三好市まるごと観光」

『地域資源「まるごと」』『地域「まるごと」』『産業「まるごと」』『行政「まるごと」』『未来「まるごと」』

「三好市観光の課題」

①. 観光客に関する課題

- ・通過型観光が主流である観光動態(宿泊滞在型の観光が主流ではない)。
- ・観光客が市内を周遊していない(観光客の多くは大歩危・祖谷の一部に偏在)。
- ・お土産品等の認知不足により、消費単価(特にお土産品等)が低い。

②. 実施体制側(三好市/及び観光関連主体)の課題

ソフトに関する課題

- ・政策のグランドデザインの不在
- ・人材不足(サービス業における労働力不足・地域の事業の担い手不足)
- ・観光振興専門人材不足
- ・観光人材不足(民間事業者・関連団体)
- ・高付加価値型の財・サービスの開発不足等
- ・地域住民の意識
- ・ハードに関する課題
- ・2次交通網の不備
- ・空き家などの増加による、景観の悪化
- ・インバウンド観光客の受け入れ体制不足、等



これらの課題は

「観光客数を低めている、もしくは観光消費単価を低めている」又は「観光政策の効果が、地域全体に発現することを妨げている」、
「観光政策の効果による持続可能な地域社会の実現を妨げている事項」

目的達成のための観光戦略

戦略1. 観光基盤整備

戦略1-1. ハード環境整備

- ・交通インフラ整備・景観整備(空き家対策、等)
- ・インバウンド観光客受け入れ環境整備
- ・自然環境に配慮した観光施設整備の推進
- ・(民間企業と連携した)公共空間活用
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン

戦略1-2. ソフト環境整備

- ・おもてなし環境の構築
- ・インナーブランディングの実施
- ・有償ボランティアガイドの養成
- ・災害時等の危機管理対応
- ・次世代に向けた観光教育の実施

戦略1-3. 観光推進体制の整備

- ・観光人材育成・近隣組織との連携
- ・地域活動支援・観光事業創出に向けた取り組み・ワンストップ窓口機能の充実
- ・観光実施主体、広域観光ネットワークの充実
- ・四国近隣における観光組織との連携(自治体・DMO等)

戦略2. 観光消費額増加施策

戦略2-1. マーケティング・リサーチの展開

戦略2-2. 食の魅力創出

戦略2-3. ジオを活用した自然および自然と歴史文化関係性を魅せる仕組みづくり

戦略2-4. 文化・歴史の魅力創出戦略

戦略2-5. ナイトタイムエコノミーの推進戦略

戦略2-6. 情報発信・営業の強化

戦略3. 観光振興の効果発現のためのデザイン

戦略3-1. 地域経済活性化に向けた外貨獲得の地域ビジネスモデルのデザイン (経済波及効果の最大化による、生活利便性の向上)

戦略3-2. 新しい「地域コミュニティ形成」に向けたデザイン(衰退する地域コミュニティ再生)

戦略3-3. 環境保全に向けた持続可能型の観光開発に向けたデザイン

戦略3-4. 地域の文化の保護・継承に向けたデザイン